市民とともに臨海工業都市の建設を

留萌市長　橋本仙市

市民のみなさま、あけましておめでとうございます

留萌市にとつては多難な年であつた一九六一年は、どうにか切りぬけてここに希望に溢れる新年を迎えることができましたが、みなさまが昨年中市政に寄せられました暖かいご支援に対し心から感謝申し上げるとともに理想郷留萌を建設する大きな目標の実現に向つて心構えを一層新らたにし最大の努力をいたす決意を固めている次第であります

戦後既に十有余年を閲して我国は未曽有の復興を遂げましたが、殊にその経済成長率は西独と匹敵しうるといわれ、世界各国驚異の的となつております。

ひるがえつて本道の情勢を見ますと、昭和二十七年に始められた北海道総合開発計画も軌道にのり、陸に海に着々と開発の歩を進めておりますことは道民の一人としてまことに同慶にたえないものがあります。

さらに眼を転じてわが留萌市の現状を見ますとき、五たび恵まれた豊作の歓喜を聞くことのできた反面、かつて本道随一の盛漁をうたわれたにしん漁業もここ数年来衰退の一途をたどり本市の経済は非常な打撃をうけたのでありますが、市民のみなさまの不屈の斗志により漸次復活の歩みを続けて参つたことは、市政をあずかる責任者として深甚な感謝と敬意を表するものであります。

また市政そのものにつきましても市民のみなさまの絶大な御協力のもとに県案事項を着々と解決してまいりましたが、なおその前途に幾つかの課題が横たわつており、その解決には多くの日時と努力を要するものであると考えられます。

すなわち中央における減税の実施、社会保障制度の拡充、公共投資の拡大という政策目標は、直ちに地方公共団体に影響する内容をもつていることは疑いのないところであります。

ここに於て政策のバランスを図ることは政府の直接の責任であるとしても地方団体においても地域社会の特殊性に応じて総合計画が樹立されるべきことよ当然のことであります

この意味におきましてわたくしは「第一次留萌市勢振興五ケ年計画」の終了をうけ、昭和三十六年度には「新留萌建設計画」の策定に着手し、広く市民のみなさまのご批判とご協力を仰ぐべく作業を進めているわけであります。

この計画は、第一次五カ年計画の実績を慎重に反省検討し可能な限りの留萌市の将来の姿を想定し、留萌地区経済圏の共栄体制の確立を大きな指標として、自昭和三十六年から至昭和四十年までを前期、四十一年から四十五年までを後期とする十カ年計画であり、このためには新産業都市建設促進法、産炭地振興臨時措置法の有効適用を策するは勿論、第二期北海道総合開発八カ年計画を全面的に活用、十万新都市建設の推進をはかるものであります。

とくにこれに附随して、留萌市勢発展の主柱である港湾の画期的な拡大をはかるための第二港湾と臨海工業地の造成にともなう総合的都市計画の施行は、本市開発の総仕上げとして、本年早期に策定を完了する計画であります。

したがつて、本年はそのつぎめの年として、また「港湾都市留萌」として飛躍をする年としてきわめて重要な意義をもつているのであります。

古書に「創業は難し、されど守成は更に難し」とありますが、わが留萌市も市制施行以来十五年、まさにこの「守成」の苦難に逢着しているわけでありましてここで渾身の勇を揮い起して難関を突破する気概を堅持しなければ、理想郷土の悲願は全く砂上の楼閣と化してしまうわけであります

隠忍持久と和衷協同、これが留萌市の題課解決のための大きな推進力の一つになるであろうことを確信いたします。

わたくしは、新雪の光によみがえる新しい年の胎動を感ずると共に、市民生活の安定向上と福祉増進を窮極の目的とするこの計画の実現が、この年を迎えるに当つての最大の責務であることを痛感いたして居ますと同時に、昨年以上の市民のみなさまの御支援と御協力とをお願いして止みません。

本年はいわゆる「寅年」にありますが、留萌市もまた猛虎の千里をかける速さと、勇猛心にあやかりたいことを念じまして、年頭のごあいさつといたします。

雪はたべないで

色は白いが放射能がいつぱい

こどもの頃サラサラした真白の雪を手にすくつて、なめた思い出が、みなさんのなかにもあろうと思います。

ところが、近頃の雪はそんなことはできません。

なにしろ、色は白いがおそろしい死の放射能をもつているからです。

核実験は雨ばかりか、雪からも昔の情緒をとりさつてしまいました。

これから北海道は積雪期になりますが、雪をたべるのはぜひやめてください。

雪にふくまれた放射能では、急に体に変調を覚えるような危険はありませんがこれがつみ重なつて障害をおこします。

もし雪にぬれたときなどは、すぐ洗いましよう。

古い話ですが、ビキニの第五福竜丸乗組員が灰をかぶつたのをほうつておいて被害を受けたのに、付近の島にいたアメリカ軍人がすぐ服を脱ぎシヤワーを浴びたのでなんともなかつたということもあります。一日ほうつておくと百倍ほどの影響がちがうといわれています。

不良色素などにご注意ください

お正月料理に色とりどりの食品が食卓を飾るのはたのしいものですが、そうかといつて色にばかり気をとられると大変です。

毎年のことながら、とかく不良食品の出まわりがちなのはこのシーズンです。

需要が多いので、どうしても粗悪なものがでまわりやすく、なかには許可されていない不良色素などが、かまぼこなどの魚の加工品や、あめ玉、らくがんなどの菓子類に使われることがあります。

焼け出され保険

火災保険に入つているからといつたものの、いざ焼け出されてみたら再建するまでの資金が欲しい。という人に、焼出され保険正式には臨時生計費担保特約条項のあることを知らぬ人が多いのではありませんか。

この保険は、焼けて再建するまで、一時ほかに立ちのいた場合、その出費をまかなうために、普通の火災保険に付帯してつける特約で大人五万円、子ども二万円の割で支払われます。

保険料は普通保険料の半分です。

一月中の許可映画

▽幽霊島の掟、出世武士道葵の暴れん坊（～二日、映劇）▽サーカス小僧、海賊王バイキング（三～七日シネマ）▽小早川家の秋、南の島に雪が降る（八～十三日、日劇）▽七人の騎士、べらんめい芸者佐渡へ行く（十～十四日、映劇）▽石松社員男でござる赤い影法師（十五～二十日、東映）▽椿三十郎、千客万来（二十～二十六日、日劇）

父兄同伴で、できるだけ昼間に入るようにご指導ください。

水戸黄門助さん格さん大暴れ

有効期間のすぎた年賀はがきの使い方

お年玉つき年賀はがきは一月十日までに、年賀用としてさし出されたものに限り、四円となつているものです。

したがつて、一月十日以降にこの年賀はがきを使うときには、四円のものも、寄付金のついた五円のものも、一円切手をはりたしてさし出さなければなりません。

この場合は、一般の通信用にも使うことができます

もしも一円切手をはらないで、そのまま使うと、先方で不足料金の二倍（二円）をとられ、めいわくをかけることになりますので、注意が必要です。

雪道はこんな注意を

冬の交通事故をなくするため

〃雪はコンコン〃とこどもにかえつて歌つているうちはよいのですが、最近のように交通量が多くなると安心はしていられません。

これからの冬期間は、次のことをまもつて冬の交通禍をなくしたいものです。

▽あるく人の注意

雪で歩道と車道の区別がわかりにくく、道はばも狭くなり、またふぶきのときずきんをかぶつたり、うつ向いてあるくため、見とおしがきかず、車のくるのがわからないので、事故になることがあります。

車道に出てあるかないことがたいせつです。

▽車を運転する人の注意

つみ上げた雪、横みちに注意し、一時停止、除行を守りましよう。

じゆうぶん手前から除行して交差点に近づき、ふだんから、ウインドウ、バックミラー、ブレーキまわりなどの整備に心がけましよう。

▽あぶない道路のそりすべり

おこさんが道路でスキーや、そりすべりをしたために、毎年多くの交通事故が起きています。お子さんは道路でなく安全なところで遊ばせるよう指導してください。